

長期留学報告

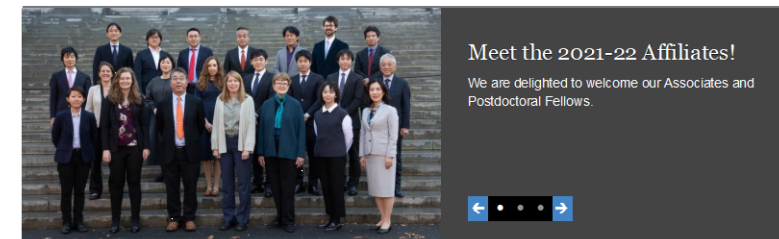
期間 2021年8月3日～2022年8月13日
留学先 ハーバード大学

商学部 教授 宮地 朋果



ハーバード大学

- 所在地：米国マサチューセッツ州ケンブリッジ
- アイビーリーグに加盟
- 1636年に設立された、米国最古の高等教育機関



Meet the 2021-22 Affiliates!

We are delighted to welcome our Associates and Postdoctoral Fellows.



ASSOCIATE SPOTLIGHT

Tomoka Miyachi

Professor, Takushoku University



Research Project: A Comparison of "Fairness" in Insurance Underwriting in Japan and the U.S.

Professor Miyachi earned her B.A. and M.A. from Keio University. She is currently a Professor at the Faculty of Commerce at Takushoku University. She is also a Council Member of the Japanese Society of Insurance Science and an Editorial

Committee Member of the Institute of Life Insurance Management, which publishes the *Journal of Life Insurance Management*. She has been a Member of the Board of Directors of the National Federation of Workers and Consumers Kyosai Cooperatives (Kokumin Kyosai co-op) since 2019. Her areas of research interest include insurance, cooperative insurance, and risk management. Her research has been published in the *Journal of Insurance Science*, the *JLI Journal*, the *Journal of Life Insurance Management*, and many other journals and reports of academic societies. Professor Miyachi's research project during 2021-22 is titled "A Comparison of 'Fairness' in Insurance Underwriting in Japan and the U.S."

CONTACT INFORMATION

tmlyachi@wcfia.harvard.edu

WEBSITES

Research Map Site

PEOPLE CATEGORIES

Associates and Postdoctoral Fellows 2021-22

@HARVARDU.S.JAPAN

HarvardU.S.Japan Highly recommended for your winter break: this excellent "Asia in Washington" podcast, featuring 2000-01 postdoctoral fellow @solis_msolis, speaking on "Japan's Economic Balancing Act." t.co/AuvKkkc1t1 13 hours 36 min ago.

HarvardU.S.Japan This is also available on Vimeo: t.co/pC16R66QXb 1 day 9 hours ago.

HarvardU.S.Japan A video of the recent seminar on "High-Tech Alliance: Pursuing Economic Security through Closer U.S.-Japan Science and Technology Collaboration" with James L. Schoff and Christina L. Davis is now available: t.co/ROVnQdk51t.co/lm8AXERIS 1 day 9 hours ago.

DanielPAlldrich Honored to be quoted in new #article on recovery from the Kentucky #tornadoes @Resilience_NU @NUCSSH @NU_PolicySchool @MansfieldFDN @AbeFellowship @HarvardU.S.Japan t.co/1wV69lPHG9 1 day 12 hours ago.

所属先：ハーバード大学ウェザーヘッド
国際問題研究所日米関係プログラム

日米関係プログラム所長：クリスティーナ・L・デイヴィス政治学教授

日米関係プログラム事務総長：藤平新樹博士

ハーバード大学日米関係プログラムでの
身分：アカデミックアソシエイト

研究テーマ：A Comparison of "Fairness" in Insurance Underwriting in Japan and the U.S.

左は、在籍時の日米関係プログラムのウェブサイトである。名刺まで用意され、プログラムの皆様にはいつも温かく接していただいた

ハーバード大
学日米関係プ
ログラムのア
カデミックア
ソシエイトと
しての責務

日米関係プログラムの行事、研
究会等に参加する

日米関係プログラムで研究報告
を行う

研究成果を論文としてまとめる

ハーバード大学日米関係プログラムのアソシエイトになるには

願書、研究計画書等を提出する

面接を行う（通常は対面であるが、コロナ禍のためZoomで行った）

英語が母国語でない場合は、英語能力も評価基準の一部

優れた研究計画を持ち、日米関係や日本の国際的役割に関する国際交流に貢献できるようなリーダーシップを発揮することが期待される

自主的に行動を起こし、ハーバード大学での時間を最大限に活用し、専門的かつ個人的な成長につなげられるような人が求められる



ハーバード大学日米関係 プログラムでの研究活動

- ハーバードでは、「保険引受の公平性についての日米比較」をテーマとして、特に医療保険分野に焦点をあてた研究活動を行った。その成果を研究報告や論文提出という形で還元する過程で、多くの方々から意見や質問、アドバイスをいただいたことは、今後の研究生活において大きな財産となるだろう
- 日米関係プログラムのアカデミックアソシエイトとして、研究会やワークショップに多く参加することで、米国内外の様々な学問領域の研究者等と新たにネットワークを築くことができた
- ハーバード大学 T.H.チャン公衆衛生大学院で、ダニエル・ウィクラー教授の講義を聴講した。研究面でも教育面でも多くのことを学ぶことができた
- 米国で家族とともに生活し、米国の病院・歯科医院等を受診し、保険を利用する経験を持ったことから、日本での研究活動だけでは得られなかった多くの気づきや学びがあった

研究課題：保険引受の公平性についての日米比較

- 日本と米国では、医療を取り巻く環境や国民の考え方、保険制度が大きく異なる。これらの相違がいかなる社会的背景から生じているのかを究明することに強い学問的関心を持っている
- 本調査研究の第一の目的は、保険実務の中核である引受業務に焦点を当て、日米の保険会社の引受基準の相違を明らかにすることである
- 第二の目的は、日米の医療や保険をめぐる環境の相違が、それぞれの国の医療保険事業の在り方や国民の保険観に及ぼす影響について検討することである
- 日米の保険会社の引受業務の比較・分析を通して、日米両国における保険のリスク区分の「公平性」に影響を及ぼす社会的・経済的背景を検討し、リスク区分のあり方に影響を及ぼす地域(あるいは国)固有の要因を明らかにする
- これらの研究調査結果に基づき、日米の保険会社の引受哲学や消費者に対する姿勢の相違、およびその背景を解明する
- 本研究は、公益財団法人かんぽ財団の令和3年度研究助成を受けた

研究の進捗状況と成果

- 2022年3月11日に、日米関係プログラムのメンバー限りで研究報告（本報告前の練習・準備を兼ねる）を行った
⇒事務総長の藤平先生をはじめ、日米関係プログラムの方々から貴重なご意見・ご質問をいただき、それを元に翌月の報告内容を大幅に修正した
- アカデミックアソシエイトの責務の一つである、ハーバード大学での研究報告（一般に公開される）を行った
⇒Harvard University, Weatherhead Center Program on U.S.-Japan Relations Seminar, “New Economic Agendas in Advanced Capitalism”, 2022年4月11日
⇒ボードウィン・カレッジのヘンリー・ローレンス先生に討論していただいたことで、今まで気付かなかった視点を多く学んだ
日米関係プログラム前所長のスーザン・J・ファー先生からご質問いただき、今後の研究課題を考えるきっかけを得た
所長のクリスティーナ・L・デイヴィス先生に、報告内容について後日お話する機会をいただき、多くの示唆・気づきを得た
- 研究成果を論文にまとめ、帰国前にハーバード大学に提出した。これもアカデミックアソシエイトの責務である
- 2023年12月に、生命保険文化センター「保険学セミナー」で研究報告を予定している
- 今後は、研究対象を医療分野から自動車保険などの損害保険分野にも広げるとともに、在外研究時に得たご意見・ご質問を研究内容にさらに反映させていきたい
- 本研究は日米の保険実務に直結した課題であるので、文献・資料の収集および保険会社・共済団体・監督官庁等へのインタビューを引き続き日米両国で行う

ハーバード大学
ウェザーヘッド国際問題研究所
日米関係プログラムを修了

- 研究発表誌名

Harvard Program on U.S.-Japan
Relations Occasional Paper Series

- 論文名

A Comparison of “Fairness” in
Insurance Underwriting in Japan
and the U.S.



充実した在外研究生活





滞在先 米国マサチューセッツ州 ブルックライン

- ・ 写真左：JFKの生家
- ・ 写真中央：近所の公園
- ・ 写真右：ボストンマラソン（2021年10月11日）
- ・ ブルックラインはボストン近郊で、JFKの生家がある。多様性があり、様々な文化を受容する地域のため、住みやすかった（円安もあって、家賃は高かった）

身近な動物

- ・ 写真左：コンドミニアムの庭で見かけたリス
- ・ 写真左から2番目：ハーバード大学の目の前で歩いていた七面鳥
- ・ 写真左から3番目：近所で見かけた鳥
- ・ 写真右：コンドミニアムの庭で見かけたウサギ。逃げない…！



総括

- ハーバード大学では、ウェザーヘッド国際問題研究所日米関係プログラムをはじめとする多くの研究会や講義に参加する機会が得られた
- ハーバードで出会った方々は、みな信じられないほど優秀かつ人間的にも素晴らしかった。また、組織として、リスペクトを持って他人に接することを徹底しているように感じられた
- 日米関係プログラムでは研究だけではなく、食事会や野球観戦などのイベントも催された。フェンウェイ・パークで大谷選手が活躍した試合を皆で観戦したことはよい思い出となった
- 研究内容や職種、国籍なども様ざまであったが、それぞれの分野の第一線で活躍される方々から、いろいろな視点や考え方、学問領域について学ぶことができた。また、家族ぐるみのお付き合いをすることができた
- アメリカで知り合った方々とこれからも長いつきあいができるよう、研究上も人間的にも成長していきたい